



明石市人丸町(山陽電鉄人丸前駅ホーム)

日本標準時子午線のある町

グローバル時代からいよいよ宇宙時代到来と思ったのは宇宙飛行士古川聡さんが撮影した神秘的なオーロラをテレビで見たときからだ。せめてアラスカでオーロラを見たいものだと思っていた矢先、神秘的な金環日食を観測。そして今度は兵庫県明石市の天文科学館のプラネタリウムで、七夕と天の川を仰ぐ機会を得た。

この科学館は日本標準時の基となる東経135度子午線で有名だが、阪神淡路大震災後生まれ変わった科学館は地球的な意味をもち、今や町の誇りとなっている。1910年(明治43年)より子午線標識が始まり、山陽電鉄人丸前駅ホームの子午線表示、子午線交番、子午線郵便局などの誕生で、子午線が町づくりに一役買っている。ここは地球と宇宙を通して、見えないものを気づかせてくれる町でもある。

あつた ちかよし
熱田 親嘉